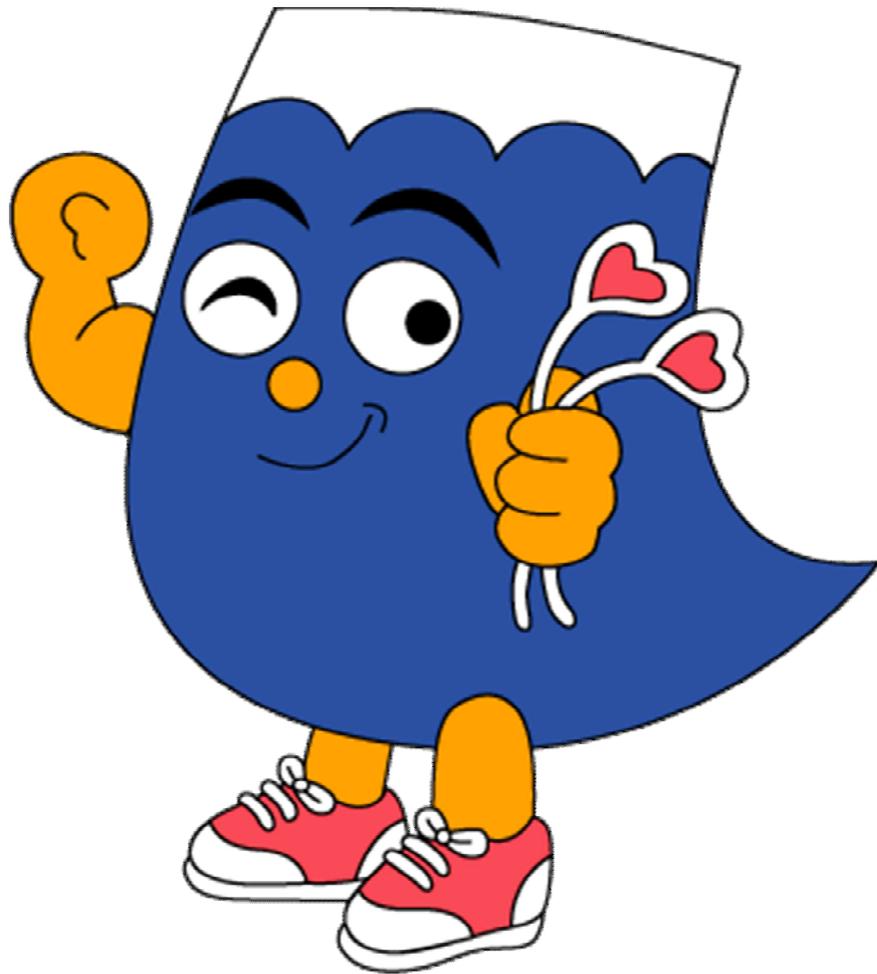


# 静岡県事業継続計画(BCP) モデルプラン(第4版)の概要 ～BCMで組織を強くしよう～



静岡県経済産業部

---

# 目次

---

I. 改訂のポイント.....	1
II. 本モデルプランの構成.....	2
III. 本モデルプランの概要.....	3

# I 改訂のポイント

## 1. BCMの定着と平常時の経営・業務に活かす

---

危機に備えるBCPを、極力平常時の経営・業務に活かすことで経営資源を強くし、リスクに強い体質づくりを実現する「BCMで組織を強くしよう」を改訂の柱としました。

## 2. 入門編などとの整合性に配慮

---

BCPモデルプラン入門編から第4版への移行が行いやすいよう、策定のプロセスを極力合わせるようにしました。

## 3. 危機対応の実践力の強化に配慮

---

今回のモデルプランは、現実の危機状況に応じた対応について、危機発生後の状況に合わせた対応が可能となる構成としました。

これにより、危機発生時の対応において、初動対応とその後の事業再開へのつながりが検討できるようにまとめました。

## 4. 実効性を高めるための配慮

---

策定した対策の実効性を高めるため、作成様式は、

- ①事前対策・事前準備の実行管理の明確化
- ②教育・演習・訓練の各計画内容に訓練目的・受講対象者などの明確化
- ③事前対策等の進捗管理、現時点でのBCPの評価、見直し・改善状況の明確化

などについて、新たに一覧化できるようにし、計画的に従業員の能力向上、社内周知などが可能になるよう整理しました。

## 5. 感染症やサイバー犯罪等のマルチハザード(多様な脅威)対応を新たに追加

---

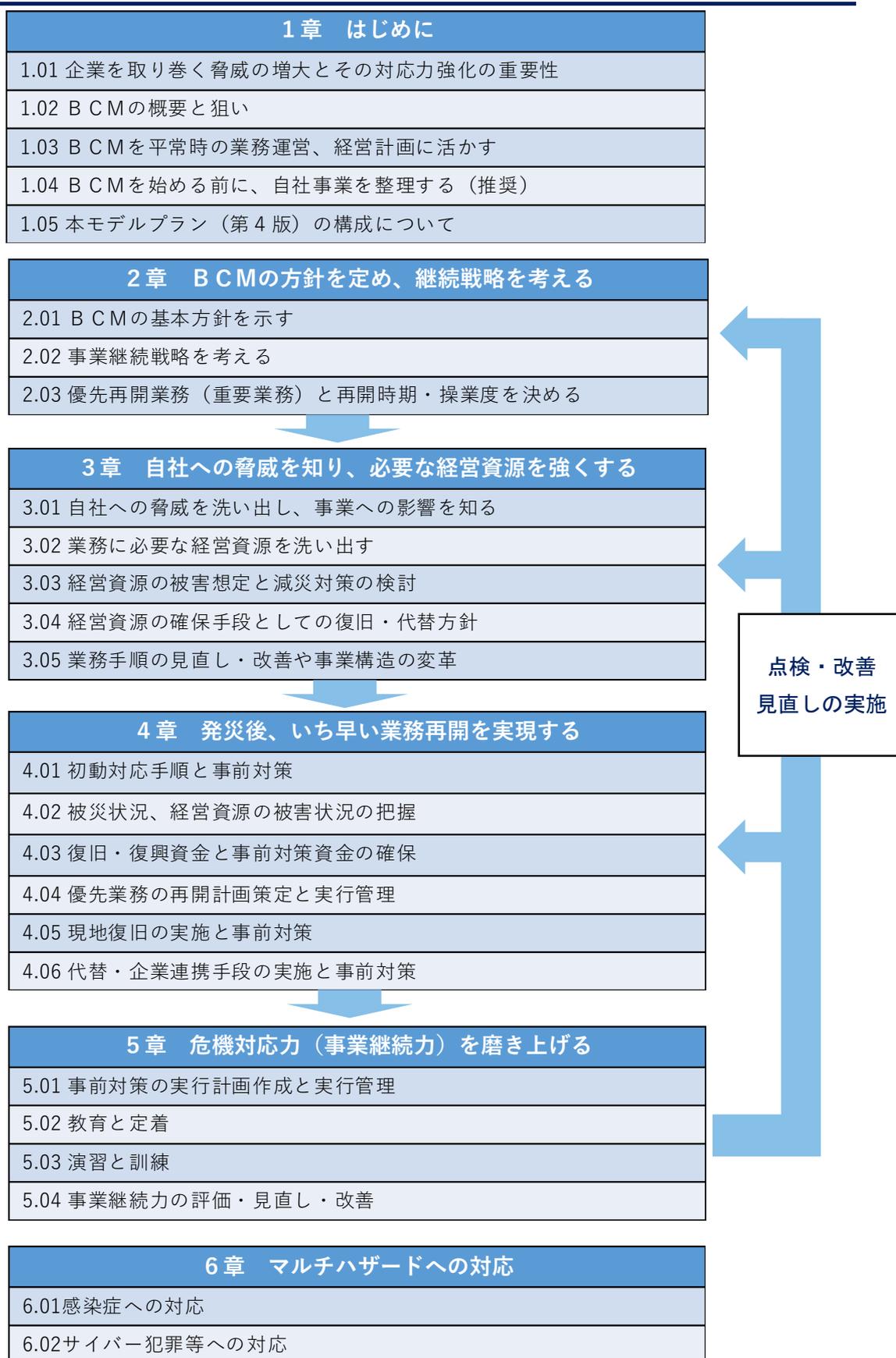
昨今の感染症やサイバー攻撃等についても、経営に大きな影響を及ぼすため、取組のための考え方を自然災害と同様に関係図で示し、補足説明をしました。

## 6. その他の工夫

---

BCP策定の検討テーマ別に必要な事項をまとめた様式(1つの様式)とし、テーマ全体を俯瞰して検討できることから、「気づき」が得られやすくなりました。

## II 本モデルプラン(第4版)の構成



### Ⅲ 本モデルプランの概要

本モデルプランは、緊急時に備えるとともに、平常時の事業活動にも活かしていくためのツールとして用いるため、以下の4つのステップの構成としております。

<b>ステップ1：「BCMの方針を定め、継続戦略を考える」（2章）</b>
BCMの基本方針、事業継続戦略を示し、優先再開業務の選定、再開時期、操業レベルを決めます。
<b>ステップ2：「自社への脅威を知り、必要な経営資源を強くする」（3章）</b>
災害時における必要な経営資源への影響を踏まえ、被害軽減や代替の対策を決め、経営資源を強くします。
<b>ステップ3：「発災後、いち早い業務再開を実現する」（4章）</b>
危機発生時の初動対応や事業再開に向けた資金確保、被災状況の確認、再開に向けた計画づくりや資源の復旧。代替のための具体的検討を進め、早期業務再開を目指します。
<b>ステップ4：「危機対応力（事業継続力）を磨き上げる」（5章）</b>
BCM活動について、事前対策や教育と演習、訓練を実施し、内容の点検・改善、見直しを継続して実施することで、危機対応力を磨きます。

また、新規テーマとして、「マルチハザードへの対応（6章）」を設け、近年、事業活動の大きな脅威となっている感染症・サイバー犯罪への対応について記載しています。マルチハザードに関するBCP策定の考え方は、自然災害に準ずるものとなりますが、感染症やサイバー犯罪対策の特徴と、そのポイントを中心に説明しております。

#### 本編各章のポイント

<b>2章. BCMの方針を定め、継続戦略を考える</b>	
2.01 BCMの基本方針を示す	BCMのための基本的な方針
2.02 事業継続戦略を考える	軽微、甚大、壊滅など被害程度に応じた事業継続の方向性
2.03 優先再開業務（重要業務）と再開時期・操業度を定める	危機状態から、どの業務を優先的し、いつまでに再開するのか
<b>3章. 自社の脅威を知り、必要な経営資源を強くする</b>	
3.01 自社への脅威を洗い出し、事業への影響を知るBCMの基本方針を示す	自社の経営を脅かす脅威を自然災害だけでなくすべて洗い出し、自社事業・経営資源への影響を評価する
3.02 事業に必要な経営資源を洗い出す	優先再開業務（重要業務）に必要な経営資源を洗い出し、整理（資源の棚卸）する
3.03 経営資源の被害想定と減災対策の検討	抽出した経営資源それぞれについて、想定される脅威によるダメージ、業務遂行への影響を踏まえ、減災対策を検討する

3.04 経営資源の確保手段としての復旧・代替方針	経営資源が利用できない場合における、復旧・代替・連携に応じた資源の確保手段を検討する
3.05 業務手順の見直し、改善や事業構造の変革	現状での業務の進め方、経営戦略やビジネスの在り方を見直すことにより、脅威による事業への影響の軽減を検討する
<b>4章. 発災後、いち早い事業再開を実現する</b>	
4.01 初動対応手順と事前対策	危機発生（発災）時にとるべき行動を明らかにする
4.02 被災状況、経営資源の被害状況の把握	被害状況や事業継続への影響を正しく把握する
4.03 復旧・復興資金と事前対策資金の確保	業務復旧に必要となる資金の確保について（リスクファイナンス）
4.04 優先業務の再開計画策定と実行管理	被災状況を踏まえ、どのように業務再開を図るか
4.05 現地復旧の実施と事前対策	被災した重要資源が現地での復旧が可能な場合、対応をどのようにするか
4.06 代替・企業連携手段の実施と事前対策	業務再開に長期間を要する場合、代替手段をどのようにするか
<b>5章. 危機対応力（事業継続力）を磨き上げる</b>	
5.01 事前対策の実行計画作成と実行管理	対策が確実に機能するため、実施計画表として整理し、着実に実行管理する
5.02 教育と定着	従業員に対しBCMの内容や関連知識を教育し、関連知識の理解度の向上を図る
5.03 演習と訓練	重要な対応について、演習や訓練を通じて確実に行動ができるようにする
5.04 事業継続力の評価・見直し・改善	実施計画について、評価・確認を行い、PDCAサイクルを機能させる
<b>6章. マルチハザードへの対応</b>	
6.01 感染症への対応	感染ステージを意識しつつ、感染防止、感染範囲を限定し、事業への影響を最小限にする
6.02 サイバー犯罪への対応	サイバー犯罪への対応策としての考え方をソフト、ハード、情報、ヒトに分け、対策の考え方を示す

静岡県経済産業部 商工業局 経営支援課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

TEL : 054-221-2807 FAX : 054-221-2349 mail : keieishien@pref.shizuoka.lg.jp

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510/bcp/index.html>